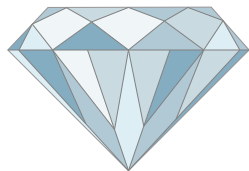


## 簡単だけど一奥が深いぞ！

2～4人 約5～15分



2～4人が短時間で遊べる  
新しく楽しいパズルカードゲーム



タイトル：ダイヤの箱  
バージョン：1.01a  
発行日：2022年11月21日  
ゲームデザイン：ていー、あんちっく  
イラスト：双星たかはる  
プロデューサー：柴崎銀河  
発売元：銀河企画 GPI.JP

Diamond Jewelry Boxes  
©2017 TEE & ANTIC  
©2022 Galaxy Plan Inc.

### ○概要

2～4人が短時間で遊べる、パズルのカードゲーム。ルールは簡単なのに、意外と奥が深い。お子様から大人まで楽しめるのでご家庭にも。カード50枚。プレイ時間：5～15分。

### ○背景

皆さんは、ダイヤモンド(以下では「ダイヤ」)を扱う商人になります。これから、ダイヤの取引をする商会を共同で立ち上げます。そこで、会長を決める儀式を行います。ダイヤが入った宝宝箱を順番に積んでいって、手持ちの箱をいちばん早く処理し終わった人が勝利の栄誉で会長と認められるのです。でも、箱の積み方には古来からの風習がありますので、それを説明しましょう。

### ○ダイヤと宝宝箱

1つの宝宝箱には6つのダイヤが納められています。ダイヤには白と黒の2色があります。ダイヤの並べ方は10通りあります。



箱の色には、赤・黄・緑・青・紫の5色があります。こうして、10通り×5色で50種類の箱が用意されます。1つの箱を1枚のカードで表していますので、以下では箱といえばカードのことです。

### ○儀式の準備

50個の箱をシャッフルしてから伏せて山札にします。

・山札の上から箱を2個引いて、図のように縦横に組合せしZ字型にして中央に置きます。

<初期配置例>



初期配置では、ダイヤ、枠の色は無視して左図のように4マス重ねます。

・プレイヤー2～4人の全員に、持ち物として箱を山札から5個ずつ配ります。受け取ったら、各自それらを公開し、テーブルの手前に表向きで横一列に並べておきます。プレイの途中で山札から引いた箱も同様です。

・以下のルールに従って自分の持ち物の箱を中央に置いていき、最初に持ち物の箱を無くした人が勝利します。

### ○箱を重ねるルール

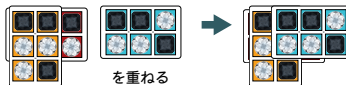
・箱は縦横どちらかの向きで置きますが、次の条件を両方とも満たす必要があります。

(1) **ダイヤの色が一致**：上の箱の6つの白黒のダイヤの色が、下の箱のダイヤの色とすべて一致していること。

(2) **箱の色が不一致**：上の箱の色が、下の箱の6つのマスの色とすべて違っていること。ここで、下に箱がないマスは、下に違う色の箱があるものと見なします。

・箱を重ねたとき、下に箱がないマスは「はみ出た」と表現します。はみ出たマスの数と同じ数の箱を、ペナルティーとして山札から引いて自分の持ち物に加えます。

<4マス重ねの例>



に

を重ねる

2マスはみ出し  
2ペナルティー

・1マスも重ならず箱を置くこともできませんが、中央の既に置かれた箱のどこかに隣接するように置きます。隣接するマスの数は自由です。

### ○順番のルール

・箱に書いてある数字がいちばん大きい人から始めて時計回りに進みます。  
・自分の順番のとき、必ず1個の箱を中央に置きます。パスはできません。

### ○勝利のルール

・前述のように、持ち物の箱を最初に無くした人が勝利します。  
・山札が無くなったとき、手持ちの箱の数が最も少ない人が勝利します。同点のときは、手持ちの箱に書いてある数字が最も小さい人が勝利します。

### ○その他

・お手つき(誤ったプレイ)が生じたとき、次の順番の人のプレイ前であれば、誰かが指摘してあげることで、やり直してプレイを続行します。次の順番の人がプレイした後は、お手つきは無かったものとみなします。

・箱を中央に置くとき、はみ出たマスの数を最小にする義務はありません。



ルールの更新情報は  
GPI.JP  
をご覧ください。